



五十沢小学校だより

いのち かがやく

No. 4

令和8年7月23日

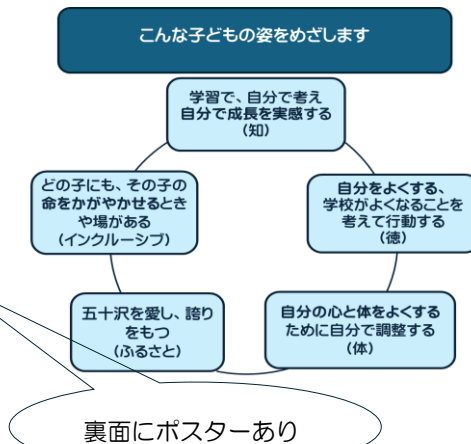


【子どもの笑顔】を支える【保護者、地域の笑顔】と【教職員の笑顔】

「新しい伝統スタート!」を目指した1学期 ありがとうございました

4月に、今年度の学校運営方針の重点として、①地域や地域の活動としっかりつながること、②校時表の工夫や学習タイムで、学習意欲や学力の向上を目指すことを掲げ、1学期、取り組んできました。

運動会で演奏する最後の鼓笛発表、地域とつながる総合・生活を実施、わくわく教室の開催、市の防災訓練に親子で多くの方が参加するなど、ぐっと地域と距離が縮まったと感じています。



令和8年度 五十沢小学校

鼓笛隊 グランド フィナーレ	新しい 伝統をつくる スタートにする	1限の始まり 8時40分
百人一首クラブ ↓ 音楽クラブ		給食準備 12時05分
地域を知る、つながる 総合・生活の学習	自分で決めた勉強を することができる	朝学習 ↓ 5限の後の 「学習タイム」
	家庭学習がんばり週間 年2回→3回	



「学習タイム」では、全校が検定に臨み、昼の放送で名前を読み上げることをめあてに、子どもたちが自分のペースで自分の力を伸ばそうと学習に向かう流れができてきました。

アンケートにて児童・保護者のみなさんの手応えや経年変化等をつかむ「学校評価」を行っています。結果をまとめ、9月にお示しする計画になっています。

学校評価アンケートより先に、6月にPTA地区懇談会が行われました。各地区の報告の「学校やPTA活動への意見や要望」という欄に、6つの地域から記載がありました。いただいたご意見は、PTA三役や学校職員で検討し、学校評価の結果と共にお伝えしようと考えています。しかし、その中で、「なるべく早いお返事を待っています」という地域がありましたので、このたよりにて返答できることをお伝えしたいと思います。その地域からの意見や要望は以下のものでした。

- ①保護者や意見を述べる場面が少ない、もしくは無い。
 - ②校時表の改訂後もその前も、お昼休みの時間を行事の練習に使ったりする為か、楽しみにしている昼休みを存分に過ごせない。
 - ③子どもファーストに考えていると思えない。(鼓笛隊をなくすことなど)
 - ④様々な場面で学校側からの周知が遅く対応に困っている。
- (このほかの内容は、学校評価にも同様な意見がありました。そちらで返答させていただきます。)

④に関しては、そうならないよう注意を払って行っているところですが、中には、やはり遅くなってしまったもの、急な変更を余儀なくされたものもありました。それでも間に合うように、対応していただけたことに感謝します。続けて起こらないよう、これからも気をつけます。

①に関しては、7月の学級懇談会が、児童も参加するPTA救急法講習会になったことで、回数が減ってしまったことへのご指摘だったかと思います。大切な保護者との懇談の機会が減じたことは残念でしたが、6年生児童・保護者や希望者児童・保護者にとって、とても有意義な機会となり、水の事故

が多発する昨今に、大人だけでなく子どもたちの知識としてとても重要な学びとなり、有意義でした。懇談会以外でも保護者からのご意見は、連絡帳や学校対応時間の中でのご来校やお電話、メール等いつでも承ります。遠慮無く、ご意見ください。

②③については、私たちも今後を見据えて、慎重に議論したところ
です。鼓笛の演奏は、音楽授業以外の時間を使わなければ習得できない
ものです。また、説明会でもお伝えしたように、本来授業で学ぶ学習内容を、授業時間の確保が大変厳しい中で行ってきました。全体で昼休みを使って練習することはしていませんでしたが、個々に習得のために休み時間を使わざるを得ない児童もいたことは事実です。また、当校が児童会活動としても、行事としても大切にしている「ダンス大会」も同様に、熱が入れば入るほど、リーダーである6年生を中心に自主練習が行われています。教師の指示や計画段階から休み時間に練習を組むことはしていません。教室を回ると、楽しそうに練習したり完成度を上げようと一生懸命教え合ったりしているように見えた。高学年の熱意に感心するところですが、下学年にとっては、「遊びたかった」という思いをもった児童がいたということなのだと思います。どちらも自分をよくしようとする「いのちかがやく」姿です。



こうした中で迷ったのは、「子どもファースト」の考え方です。この言葉を「子どもの望むことを叶える」という意味だけで使われたのではないと思います。子どもはまだ自分が望むことが、自分にとって、安全や長期的な成長、社会性の育成、健康等々を考えたものになるか判断できないこともあります。嫌なこと、辛いことでも、「その体験があったから～」という良さをわかっているのは、私たち大人です。ですから、「子どもファースト」という子どもが自分の人生を豊かに主体的に生きられるようにするための判断は、やはり、よく考えなくてはいけないと思うのです。上記の鼓笛やダンス大会に向かう子どもの姿をどうとらえるか…。様々な視点から考え、さらに子どもの自主性を育むという点から、昨年度、私たちが苦渋の決断をしたのは、鼓笛隊を終了するというものでした。

ここまで述べてきたことで、十分な回答になっているか、ご意見の意味を取り違えていることもあるかもしれません。また、是非直接聞かせていただき、お話しできたらと考えております。

兎にも角にも、感じ、考えていることを伝えてくださったこと、「返事を待っている」という言葉は、五十沢小学校の教育に強く関心を持っていたいただいている証です。本当にありがとうございます。これからも、「トライアングルスマイル」、みんなで子どもをより良く伸ばして行きましょう。

夏休み 心と体と交通事故に気をつけて みんなで子どもを守りましょう

子どもたちが楽しみにしている夏休み。新潟県や文部科学省から、子どもの心身と交通事故に十分気をつけて見守るよう、通知が来ています。ご家庭で是非お願いします。

(1) 夏休み前後に、子どもの自殺が多くなる傾向がある。

学業不振やいじめを要因とするものなど、悩みを抱えてしまいやすくなる傾向があるそうです。子どもには、保護者、学校、相談機関などに相談することを勧め、保護者も、様子を見て少しでも気にかかることがあったら、声をかける、保護者も学校や相談機関に相談するなど、見守りましょう。

(2) 自転車乗りのルール遵守、マナー向上

子どもの自転車の移動時は、保護者の目が届かないときが多いもの。目が届かなくても、ルールやマナーを守れるよう、繰り返し指導する必要があります。もし事故に遭ったら安易に「大丈夫です」と言わず、けがのない小さな事故でも相手の連絡先を聞くことや、警察を呼ぶこと、それができなかつたら、車の特徴やナンバーを覚えておくことを教え、実践させていきましょう。

夏休みも地域とともに！

わくわく教室
7/27～29

(裏にポスター)

育成会五十沢
子ども遊び場
8/9

五十沢会館学
習室

7/27～8/21
(11～14日は休み)

是非見に来てく
ださい！